

第一一一回 鎌倉漱石の會(漱石忌)例会 御案内

夏目漱石の記念年中に開催する、最後の行事となりました。そこで、お昼休みには、漱石を記念する美味しい珈琲「夢十夜」を、四囲の山々の紅葉と一緒に、帰源院の庭前で愉しんで貰はうと存じます。皆様、お誘ひ合はせてお出掛け下さい。

十二月三日(日)、午前十一時〜午後三時半頃まで。

鎌倉円覚寺塔頭「帰源院」 JR横須賀線、北鎌倉駅下車、徒歩三〜四分

漱石忌読経(漱石の命日は九日)

帰源院住職

富澤 宗實 和尙

講演 【午前の部】『それから』を読む

明治大学教授

松下 浩幸 氏

三十歳になっても働こうとしない代助は、自らの「無能力」を正当化するかのようには、日本の近代社会への懐疑を口にする。親元からの援助に頼り、働こうとしないそのような主人公・代助の造形を「男らしさ」の視点から、また代助が思いを寄せる三千代という明治の女性について、当時の恋愛と結婚の視点から考える。とのご講演要旨になります。

【午後の部】 漱石と英文学

東京大学名誉教授

山内 久明 氏

同時代のイギリスにおける学界・文壇の傾向に沿ってイギリス文学を受容していた漱石が、自ら「尤も不愉快の二年」と呼ぶ留学を契機に「自己本位」の立場を打ち出しさらに作家へと転身する過程を、個人の内面的葛藤と同時に文化の出会いと衝突という普遍的問題として把握しつつ、標記の演題(テーマ)について私なりに整理し再考いたしたい。とのご講演概要になります。

会費 三千五百円、(イ)五目鮎折詰、(ロ)お饅頭、(ハ)甘酒、(ニ)お茶、(ホ)珈琲「夢十夜」(昼食後の呈供)

参加 不出、欠に拘らず、同封のハガキにて、ご返事をお早めにご投函下さい。尚、ご返信のない向きへは、ご関心のないものと見做し、以後の案内は差し控へます。出席申込みは十一月二十八日(火)必着となります。

頒布 (一)、対訳ワーズワース詩集 山内久明(編)(岩波文庫) 定価七三三円(税込) 特価六〇〇円(税込)

(二)、別冊太陽『夏目漱石の世界』(平凡社刊) 定価二、五九二円(税込)

特価二、一〇〇円(税込)

平成二十九年十一月

御注意

御来会の際は、円覚寺入口にてこの案内状の封筒をお示し下さい。又は「鎌倉漱石の會」出席の旨お申出下さい。拝観料免除

【緊急出席取消し】

二日午後三時までにお願ひ致します。
☎〇八〇・五五三三・二二五〇



漱石記念年
2016・2017